

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

国語では、「前後の文脈を読み取り、動作主を選択する」という設問や「提示された情報を受けて、相手に失礼のないように確認する文章を書く」という設問において、全国平均を上回る結果となりました。本校では授業での取組として「人のことを大切に聞くこと」を意識した指導を行っており、情報からその場の状況を想定して考え、相手を思いやって表現する力が身に付いてきたと考えられます。

数学では、計算問題や文章題の基本的な問題においては全国平均を上回っています。また、図形の証明では理解力が高いようです。授業に落ち着いて取り組む姿勢が、少しずつですが、成果として表れています。

質問紙調査の結果から「家で自分で計画を立てて勉強している」という項目の経年変化を見ると、3年前の3年生より25%も向上しています。

課題と対応

国語では、場面に応じて適切な敬語を選択する設問や、自分がどう思うかという考えを述べることに於いて、正答率が低く、課題が見られました。そのため、日々の学習の場面から、自分が考えたことを言語化する機会を設け、表現する場を設定したいと考えます。また、日常生活を学習材とし、自分の使う敬語や言葉の表現が適切か、その場で考えて修正することができる機会を作り、定着を図ります。

数学では、複雑な文章を読み取り、式や計算を導き出すことに課題が見られます。この対策として、今後は数学に限らず、「文章を書く・読む」などの経験を増やしていきたいと思えます。

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査では「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目に『当てはまる』という回答が高い割合で示されています。自分の周りの人々のことを考えていこうとする姿勢が読み取れます。家庭でも地域でもこの気持ちを更に成長させ、人として豊かな心をもった生徒を育てるために、より一層のご協力をお願いしたいと思います。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	文の構成（主語と述語）について理解している。
	社会	日本の位置と領土，地形や気候について理解している。
	数学	面積を求めたり，対称な形を選んだり，図形についての理解が高い。
	理科	各領域ともに理解できており，特に植物の成長・電流のはたらきに対する理解が高い。
	英語	日常表現（動作など）に対する理解が高い。
	学習状況	計画的に学習に取り組み，読書の習慣も定着しており，規則正しい生活ができている。
第2学年	国語	発表をする際の注意点や，相手や場面に応じた言葉遣いについて理解している。
	社会	撰関政治，蒙古襲来について理解している。
	数学	数量を文字を使って表すことができる。
	理科	水溶液の水を蒸発させることで溶質を取り出すことができることを説明できる。
	英語	英単語・並べかえ・3文以上の英作文など，「書くこと」の領域での力が付いている。
	学習状況	家で，自分で計画を立てて勉強している。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	登場人物の心情を描写を基に捉えることに課題がある。	国語においては心情の読み取り，数学では文章の読み取り，理科では得られた情報を基に推測・考察することなど，読解力，情報の活用に課題がある。今後の授業を通しての改善策としては，各教科において，学習した内容をもとに，対話を重ねたり，推測を行ったりした上で，必要な情報を読み取り，要旨をまとめ，発表する場面を充実させ，情報活用力，発信力，読解力を高めていきたい。学習状況については，コンピュータなどのICT機器の活用をしたいという意識が高い様子が見られる。そこで，Chromebookを活用した授業の取組を，さらに充実させていきたい。また，授業での生徒の活躍の場面を充実させ，自己肯定感を高めていきたい。
	社会	室町時代の社会の様子やキリスト教伝来についての理解に課題がある。	
	数学	分数・小数や公倍数の理解が低い。また，文章を読み取ることが苦手である。	
	理科	与えられた条件や結果を基に考察や推測をする部分に課題がある。	
	英語	アルファベットの小文字の習得が不十分である。	
	学習状況	コンピュータなどのICT機器の活用に課題がある。	
第2学年	国語	漢字の書き取りに課題がある。	社会科では，問われていることについて，資料から読み取ることに課題がある。対応としては，小単元ごとにまとめと振り返りを行い，学習の定着を図る。また，単元テストや小テストを行った後，解き方の解説を加え，復習をすることで，知識・思考の定着を図る。理科では，基本的な計算練習等にかかる時間が不十分であったと考えられる。今後の計算問題等においてはノートやワークの練習ページや独自の練習プリント等を利用しながら十分な時間をとっていきたい。学習状況については，進路学習や行事などを通して，様々な体験や学習をする中で人生の目標を見つけていけるよう支援していきたい。
	社会	正距方位図法の活用について課題がある。	
	数学	比較量と割合から，基準量を求める計算の理解に課題がある。	
	理科	質量パーセント濃度の計算の理解に課題がある。	
	英語	英文とグラフを組み合わせた長文読解に課題がある。	
	学習状況	夢や目標をもつことに課題がある。	

【保護者・学区の方へのお願い】

香和中学校区では，小中学校が連携して家庭学習の充実を目指し，自主学習ノート（中学校ではこっこつノート）に取り組んでいます。今年度の調査においても，自分で計画を立てて勉強している様子が結果に表れています。また，多くの生徒が，読書に親しみ，家庭での時間を有意義に過ごしている様子がうかがえます。ただ，メディアに触れる時間の長さには依然課題が残るので，今後もメディアコントロール週間などの取組を継続していきます。ご家庭においてもご協力をお願いします。